

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体等を紹介します。

下中会

代表者 友部 正一(下市原)
設立 平成3年9月
会員 20名



会員のみなさん



友部正一さん(会長)より

ふれあいによる 地域づくり

同会に入会していなかったら、地域の方と話をする機会が少なかったかもしれません。しかし、様々な方からアドバイスや体験談を伺うことができたり、一つの課題に対して、年齢に関係なく各自が得意分野を生かしながら克服していく過程に自分も関わっていることに、地域との強いつながりを感じています。

下中会は「みんなで楽しく」を基本に活動をしている会です。地域の方とのふれあいを通じて、よりよい地域づくりができればと考えています。なお、平成19年7月29日に、第12回どろリンピック大会を開催することになりました。ただいま参加者募集中です。参加は無料で年齢を問いませんので、家族皆さんでご参加ください。会員一同、お待ちしております。

下中会は、下市原、中市原に住んでいる20歳代から40歳代の会員からなります。活動内容は、どろリンピック・農業体験・節分祭・イルミネーションの設置などです。特に「どろリンピック」は、12回を数える一大イベントです。休耕田を利用して、その中に水を張り運動会を行うもので、主な種目は、ロープにつかまり少し離れた浮島に着地する「ターザンゲーム」、水田に敷かれた板の上を自転車で対岸まで渡る「自転車一本橋」、「どろんこ相撲」、「たんぼフラッグ」などです。

今後も、若い世代が知恵を絞りながら家族及び地域住民のふれあいの場をつくり、地域の活性化につなげる活動をしていきたいと考えております。



どろリンピック
(たんぼフラッグ)



どろリンピック(対抗リレー)



ふるさと体験農園
(稲刈り体験)



節分祭(鹿島神社)